

子丑天中殺の人の人間関係

■午未天中殺の人との人間関係

子丑天中殺にとって、南方欠落の影響を受けるということは、「北も南もない」という状態が生じてしまう訳ですから、何かにつけて、精神より現実を重視する傾向が二人の間に生じてきます。

また午未天中殺というのは子丑天中殺にとって非常に奇妙な働きをする関係だと言えましょう。言ってみれば、非常によく効く一種の毒薬みたいなもの……うまく使えば効き目はいいけれど、ながく使っては危険だという関係です。

南と北はちょうど対立する位置にあるわけです。ですから、この二つの天中殺は方向も目指すものも反対になりやすい。

一方的に良いだけの関係もないし、一方に悪いだけの関係もありません。

たしかに、子丑天中殺を引き立てて、発展させてくれる働きは午未天中殺には期待出来ません。

むしろ、子丑天中殺を止めてしまう働きをします。

ところが、この「止めてしまう」という働きが、子丑天中殺にとって非常に役に立つことがあります。

それが午未天中殺との相性です。

発展しないで、止めてもらって有難いこと……と言いますと、当然悪いことです。

まず、病気、それから、会社の仕事でのスランプや、左遷などで運勢がドンドン下がっているときも、……やはり止めてもらいたいものでしょう。

自分の運勢がどんどん下がって、仕事でほされているとき・商売がうまくいかないとき・恋愛がこじれているとき・病気が長引いている……こんなときに、午未天中殺の上役か同僚、友人にあうと、下がっている運勢をビシッと止めてくれるのであります。

「止めてしまう」という働きは不運を止めてくれる働きもするが、子丑天中殺に運が向いて来たときも、その伸びようとする運勢にもブレーキのような働きをして「止めてしまう」という働きをするわけです。

子丑天中殺にとって、午未天中殺の相手というのは苦しいとき、困ったときだけ付き合って、好調なときはちょっと遠ざかっていたい……相手ということになるでしょう。

ところで、こういった天中殺関係の二人が結婚をした場合は、非常に現実の利害に強く目が向くような形が出て来るのであります。

もともと、子丑天中殺は理屈が少ないので、理性の強い午未天中殺の影響を受けて論理性が生れて来るからです。そのため、子丑天中殺特有の冒険心がうすれ、用心深さが出て来るのであります。

それは、子丑天中殺が「攻め」から「守り」に入ったと考えたらいいでしょう。

二人だけに限れば良い関係ですが、二人の間がうまくいけばいくほど、子丑天中殺の人生の歩みは小さくなってしまう……という欠点があります。

皆さんには、まだ記憶にある事と思いますが、明石家さんまさん(子丑)と大竹しのぶさん(午未)のお二人が、この天中殺関係でした。